みつくら

令和　６年　５月１５日　　第４１０号
発行　　大瀬川活性化会議
編集　　「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川１０－４５－２
大瀬川振興センター　電話４５－６４７２

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

あじさいの会が総会

あじさいの会（板垣福子会長、会員２４名）の総会は３月３１日に行われた。事業報告で最も大きな事業は、毎週火曜日に実施している「元気でまっせ体操」が５１回（１回行事が重複で中止）に延べ４６０名が参加した。他の事業は「ふれあいサロン」を３回開いて１回目は「映像で綴る大瀬川の記録」の中から３点を鑑賞した。２回目は伊藤正一さんの「鹿踊り」や「ハーモニカ・尺八」で楽しんだ。３回目は熊谷静治さんが撮影した「大瀬川の風景・大瀬川館周辺」を鑑賞したのと、冨澤惣一さんを招いて「マジックショー」。

他に、いきいき講座は２回で、いづれも長寿福祉課を招いての「体力測定」と「膝痛・腰痛予防体操」であった。決算報告では、会費の他や助成金約４万２千円（大瀬川活性化会議、市社会福祉協議会）など合わせて約８万３千円での活動が報告された。

交通安全協会が総会

去る４月１３日に交通安全協会大瀬川分会（板垣吉彦会長）では、５年ぶりとなる通常総会を大瀬川振興センターで開催した。佐藤健交通安全協会石鳥谷支会長、崎山純石鳥谷交番所長、熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長が来賓として出席した。

開会のあと板垣真裕美さんと一緒に「岩手県交通安全憲章」を全員で唱和し、定足数の報告のあと菅原昇さんを議長に議事が行われた。

事業報告では、季節ごとの交通安全運動、飲酒運転根絶全戸訪問のほか、強風で倒れた交通安全広告塔改修工事の対応が報告され、６年度に大瀬川活性化会議の協力で工事を実施する案が可決された。また、役員改選については監事１名のみが改選されほかの役員は再任された。

大瀬川体育協会が総会

大瀬川体育協会（熊谷俊哉会長）では４月２０日大瀬川振興センターで、令和６年度の代議員会（総会）を代議員数２２名の内１７名（委任状含む）の出席で開催した。

議長に高橋義晃さんを選出し、３つの議案が提出され全て満場一致で可決された。後日代議員会資料配布と会費徴収（５００円/戸）で役員が各戸を回る。

６月９日には第７８回地区民運動会開催を準備中なので地区民総出の参加をお待ちしているということであった。

第一老人クラブが総会

第一老人クラブ（熊谷政男会長）では、４月２１日に９区自治公民館で２６名が参加して通常総会を開催した。今年は総会に先立ち、花巻市ふれあい出前講座を利用して、松園在住の二本木光史講師による「大笑い・脳活・健康マジック教室」と題したミニ・マジックショーを開催した。

二本木講師の巧みな話術で披露されたのは、トリック・アートやトランプを使った軽快なマジックのほか、観客と一緒にたたんで千切ったはずのチラシが、開くと元の一枚に戻っているなど変幻自在な技に、「あれ？」と驚嘆したり拍手をしたり、楽しく過ごして予定の時間が過ぎていた。

休憩を挟み通常総会が開催され、総会設立宣言後に熊谷武忠さんを議長に選出し３つの議案が出された。事業報告では５年度もコロナやインフルエンザ等感染症対策で高齢者の健康管理に配慮した活動となった。会費決定では正会員６３名と準会員２８名の報告があった。６年度も教養講座・スポーツ大会・奉仕活動や会員研修等の活動計画案が満場一致で可決された。

公葬地運営委員会が総会

大瀬川公葬地管理運営委員会（板垣弘清委員長）の総会は４月２４日に１９名が出席して大瀬川振興センターで開催された。

総会には新旧の運営委員が合同で出席し新役員も選出された。板垣委員長の挨拶に続いて議事録署名人に藤原利博さんと菅原浩孝さん、書記に板垣光善さんを任命した。

事業報告では新規区画利用者や、お盆前の草刈清掃、水道設備の点検（２回）、除雪作業（２回）などが報告された。算決算報告では、墓地利用者（２００名）からの会費１０万円が主なもので、新区画使用料３万円、繰越金約５万円の合わせて約１８万円の報告であった。

５年ぶりに総会後に懇親会

4月２４日、大瀬川中央長寿会（菅原得之会長）は令和６年度通常総会を１８名が出席して大瀬川振興センターでおこなった。平成３１年度から令和４年度までは書面議決で対面での総会は５年ぶりになった。議長に板垣正博さんを選出し、提出された第５号議案まで賛成多数で承認された。５年度はほぼ例年通りに事業が行われ、繰越金も例年通りになり会員に還元する事が出来た。総会終了後は久しぶりの懇親会を行い、さまざまな話題で情報交換を行った。

葛丸の農村環境を守る会が総会

農地・水・環境保全団体である葛丸の農村環境を守る会運営委員会（板垣幸夫会長、２１３世帯、構成員３９０名、対象農地３５０町歩）の総会は、４月２６日に大瀬川振興センターで２０名が出席して開かれた。菅原清昇副会長の開会のあと、板垣幸夫会長は「お忙しいところ、本日の総会に出席下さいましてありがとうございます。令和５年度の事業は、皆様方のご協力を頂きまして計画通り実施できました。令和６年度からは、第３次５ヶ年計画が始まりますので、それらも含めて審議をお願いします」と挨拶した。

事業報告では２９項目の活動に延べ２，８０９名が参加し、決算報告では交付金２，５７９万円が報告された。

令和５年度に県内の農地・水・環境保全団体で、活動中に死亡事故が発生したが、作業に当たっては安全を最優先に活動するように花巻市から通達されている。

農事組合法人大瀬川が総会

農事組合法人大瀬川の総会が４月２８日に大瀬川振興センターで、議決権行使書面による議決を含み約１１０名の出席で開かれた。

事業報告では、小麦は７５町３反歩の作付けで約６５屯の収穫、大豆は１３町８反歩の作付けで約１屯の収穫、飼料用米は１３町３反歩の作付けで約５９屯の収穫が報告された。

また損益計算書では当期純利益で６５０万円が報告された。総会では他に定款の一部改正も行われ、組合員資格に「農業を営む法人を追加」した。ほかに定款改正では配当に当たっての「通知方法の変更」を改正した。

火防祭と社殿塗装祈願祭

去る４月２９日に天満宮と山祇神社で神社と地域の火事防止を願った火防祭神事が行われ、相談役・責任役員・総代が出席して、大瀬川神楽とともに直町宮司の祝詞で祈願し、玉串を捧げた。

また山祇神社では、花巻市消防団第１３分団第１・２部の役員と消防自動車にも無火災と無事故の清祓を行い玉串を捧げた。続いて本殿と拝殿の塗装祈願祭に移り、宮司と役員のほかに菅昭塗装所の菅原敦夫さんも工事の無事を祈って玉串を捧げた。塗装工事終了は５月中旬を予定しており、予算は６１１千円で特別会計と一般会計から支出することが１２月の執行部会で決定している。また、社務所を除いた神楽殿・神輿倉庫・手水舎の屋根塗装も工事期間内で菅昭塗装所が塗装寄付の申し出があった。

交通安全祈願祭を行う

交通安全協会大瀬川分会（板垣吉彦会長）では、４月２９日に山祇神社において直町宮司の祝詞のもと、役員が地域の交通安全を願い安全祈願祭を行った。

みつくら

令和　６年　５月１５日　　第４１０号
発行　　大瀬川活性化会議
編集　　「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川１０－４５－２
大瀬川振興センター　電話４５－６４７２

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

薬師堂川で観桜会

薬師堂川の桜を愛でる会（板垣寛会長）主催の観桜会は、４月１６日に２４名が参加して開かれた。この会は平成１５年４月に熊谷律夫さんの発案で始まったもので、当初は薬師堂川沿いに住んでいる方々６～７名で、平成３０年まで事務局は熊谷律夫さん、会計は板垣忠夫さんが担っていた。コロナ禍で４年間観桜会は休んでいたが、令和５年から再開し、会費制を止めて各自で飲食を準備しての開催としている。当日は、午前１１時半から１３時までの昼休み時間に行い、久しぶりの懇談に花が咲いた。今年の桜は開花から満開まで２日、満開から３日で葉桜状態になるなど花見の期間が短い年であった。

観桜会の参加者は板垣寛さん、板垣弘清さん、菅原敬夫さん、菅原敦子さん、菅原新一郎さん、菅原千恵子さん、菅原銀一さん、菅原洋二さん、板垣武美さん、板垣敦子さん、熊谷律夫さん、熊谷レイ子さん、板垣忠雄さん、板垣契子さん、菅原得之さん、菅原榮一さん、菅原佳子さん、菅原義秀さん、熊谷政男さん、熊谷幸子さん、板垣匡俊さん、板垣幸寿さん、板垣禮子さんであった。

大瀬川での桜の開花は、柳原美智子のが最も早く４月１１日、標準木としている大瀬川運動公園の桜は４月１３日であった。

天満宮春の清掃

去る４月２０日に第一老人クラブ（熊谷政男会長）では、春の奉仕活動として４月２９日に火防祭が行われる天満宮境内外回りの清掃を９区２班・３班の会員１６名で行った。今回は杉落ち葉は少なく軽トラック１台分だったが、境内横にある供養塔が転倒していたため、急遽元に戻すために時間がかかった。最後は藤原利博さんの参拝に合わせて全員で祈願し散会した。

板垣さんの写真展を鑑賞

七人会（熊谷政男会長）は４月２８日に江釣子ショッピングセンターで開かれた「第２３回森のアトリエ写真展」を鑑賞した。この写真展を主催した「森のアトリエ」では会員１０名がそれぞれ５点ずつ出展していて、その中に板垣弘清さんが「めざめの刻」「暮れなずむ森」「孤高の輝き」「妖精のささやき」「水辺の合唱」の５点を出展していた。これまでは大瀬川写真クラブの有志が板垣さんの写真展を鑑賞していたが、板垣さんが会員でもある「七人会」で今回は家族揃って鑑賞したもの。

参加者は熊谷律夫・レイ子さん夫妻、菅原敬夫・敦子さん夫妻、菅原栄一・佳子さん夫妻、熊谷政男・幸子さん夫妻、菅原得之さんの９人であった。帰りには「おせん」で買い物をした後、東和温泉でくつろいでささやかながらの連休を楽しんだ。

緑の桜が満開

４月２８日に９区の旧熊谷利昭さん宅（栗の木竈家）に緑の桜？が満開と聞いて早速観に行った。確かに花弁は緑色で中が微かに桃色の八重桜で満開だった。この桜は、９区でゲートボール場に整備した時（現在は閉鎖）に故藤原美代二さんが植えたもので、品種はネットで検索したところ「御衣黄（ぎょいこう）」ではないかと思われる。また、ある場所でこの話をしたところ、７区の公民館にも緑の桜が咲いていると聞かされ観に行ったところ、敷地内に３本が咲いていた。辻村勝俊さんに聞いたところ、辻村さんが区長の時に市に申請して頂だき植樹したが品種はわからないとのこと。　ネットで検索したところ、緑色が薄いので「鬱金桜（うこんざくら）」かも知れない。どちらも八重桜のため、ソメイヨシノより遅く長く咲くので来年は是非ご観覧を。

見たこともない大きなイノシシを捕獲

「イノシシはこんなに大きくなるのか⁉・・・」５月７日に菅原孝さんから「大きなイノシシを捕獲した」と知らされて見た時の印象である。場所は菅原孝さん宅と菅原正子さん宅の丁度真ん中辺の竹林で１００㎏を優に超すほどの大きな雄であった。捕獲に使用した「括り罠（くくりわな）」は、タケノコの周囲に仕掛ける。イノシシには見えないように、米ぬかを罠の上直径２０㎝くらいの大きさに盛り上げる。罠は細いワイヤーで近くの木に繋いでいた。イノシシはタケノコより先に米ぬかを鼻で嗅ぎまわした時に鼻に罠が仕掛かる。花巻市から捕獲を依頼された二枚橋の佐藤剛猟師が捕獲した。

佐藤さんの話によると、イノシシは「籠罠」にはなかなか入らず、最近はイノシシの鼻に掛ける「括り罠」の方が良く仕掛かるという。ほかに足に仕掛ける「括り罠」もあるそうだ。佐藤さんにこのイノシシの処理はどうするのか聞いたところ「処理したうえで燃えるゴミに運びます」とのこと。憎っくきイノシシが多く捕獲されるように願いたい。

イノシシ被害は７区から県道盛岡和賀線を越え８区にも現れ、昨秋は９区でも路肩やサツマイモの被害があったが、ついに今春は県道２８５号線（通称農免道）を越え、福島吉隆さんの田んぼを掘り起こした形跡があった。また、市道大瀬川線の板垣邦博さん宅と板垣武さん宅の間の田んぼにもイノシシが掘り起こした跡があった。

イノシシの習性で一度来たところは覚えていて何度も被害に遭うというが、被害を防ぐ手立てはなかなか難しいのが現状である。年々拡大する一方のイノシシ被害をなんとかくい止めたいものだ。

人　　事（敬称略）

大瀬川公葬地管理運営委員会
　委員長　熊谷秀夫（新）
　副委員長　菅原敏幸（新）菅原昭悦（新）山形圭子（新）
花巻地区交通安全協会石鳥谷支会大瀬川分会
　分会長　板垣吉彦（再）
　副分会長　熊谷記彦（再）畠山勝敏（再）
葛丸の農村環境を守る会
　会長　板垣幸夫（再）
　副会長　菅原清昇（再）板垣正博（再）関村忠志（再）

県道盛岡和賀線の歩道工事が完了

３カ年計画で進められていた県道盛岡和賀線の御所森付近の歩道新設工事は、５月１５日に完了した。大瀬川から要望して以来１５年経過して実現した。歩道の距離は大瀬川公葬地入り口から市道石沢大瀬川線までの約４５０ｍ。

訃　　報

善助竈家（９区の方）の熊谷ハルエさんは、４月２０日に８１歳で亡くなられました。

熊谷さんは、新堀の出身で２０歳の頃に善助竈家に嫁がれました。熊谷さんで思い出されるのは、なんと言っても長い間にわたってご主人の善一さんを自宅で介護されたことでした。介護されて８年目の平成１７年には髙橋公男石鳥谷町長から表彰され、１０年目の平成１９年には花巻市社会福祉協議会長からも表彰されました。

昨年１月にご主人が亡くなるまでの２７年に及ぶ自宅介護は、誰にでもできるものではないと思われます。

大瀬川地区敬老祭に身体の不自由なご主人に寄り添いながら夫婦揃って参加された姿が思い出されます。

熊谷さんは、地域にもいろいろ貢献をされた方でもありました。記録に残っているだけでも昭和５６年には大瀬川交通安全母の会長、昭和５７年には大瀬川婦人消防協力隊副隊長、平成５年には大瀬川公民館婦人部副部長なども担われています。

ご主人が杜氏さんだったこともあって熊谷さんは、春先の農作業をはじめ、葉たばこ栽培にも懸命に働いた方でした。

今頃は、やっと逢えたご主人とお話しされておられるでしょう熊谷さんに、謹んでご冥福をお祈り申しあげたいと思います。